

(7) その他
横浜のイメージ向上にもつながる取組だと思うが、負の側面もあり慎重に検討を進めてほしい。
<p>①懸念事項の対策は出されているが、有効性、効果は疑問です。この「懸念」こそ、博打の違法の意味、法で禁止している意味では。違法の博打を認め、推進する、できる根拠を説明して下さい。</p> <p>②事業性、観光客の伸び悩みの説明もありました。そこで、人の不幸を財源に地域の発展をめざすのですか。港ヨコハマの観光資源、歴史をいかす検討はどれだけされているのか！</p>
横浜にはギャンブルがいろいろあるのに、カジノまで。アルコール依存症よりもわかりにくいギャンブル依存症について横浜市の職員のみなさんがしっかり見ていくべき。すぐ近くの寿町の診療所の医師や看護師の声などもじっくり聴いてほしい。カジノありきのIRはいらぬ。横浜中央図書館にギャンブル依存関連の本が読み切れないほどあります。市の職員の皆さんも読んでください。
横浜市が白紙と言っているカジノの説明会をやったり、業者にばく大なお金を払い資料を作っていることに大変疑問を感じます。カジノは絶対反対
市の課題を整理した上でIRの位置づけをMappingすることが重要。IRの反対派が多数いますが、頑張って進めて欲しいと思います。
カジノを推進する為の報告書と説明会としか思えない！
既存の自営業者や中小零細企業のごことは、まったく考えてくれないことが、よくわかりました。
<p>正直説明を聞いてワクワクしました。今後の横浜市の厳しい財政を考えるとIRを導入することを前向きに検討するべきであると思いましたが、6千円という入場料は高すぎてギャンブル大国である日本において採算性に疑義があります。また、港湾の開発において、反社会勢力を排除することができるかが課題と考えます。</p> <p>また、今後の説明会においては、下記について配慮願います。</p> <p>①不規則発言の取り締まり②質問者の選定方法</p> <p>①については正直うるさく冷静な質疑が行える環境ではなかった。②については質問者を挙手で選定するのは雰囲気上、反対意見が言いづらいのと、年齢層にかたよがりがあると思います。また、質問数の制限と回答中の発言の禁止を徹底願います。最後に、大きな声にまどわされず進めてほしいです。</p>
IRのポイントはカジノだが、それを抜きに考えられないとすると絶対にやるべきではないと思う。横浜にカジノは似合わない。幾多の悲劇を生む危険があるものをやるべきではないので。
横浜市民の9割が反対しているという現状を直視してください。
横浜が日本人が異国情緒を感じるだけの場所から脱し、真の国際観光都市を目指す為には、IRは必須だと思います。ただ、IRだけでは駄目。総合的なビジョンが必要だと思います。今がチャンスだと思います。
ぜひとも前向きにすすめられるようご尽力願います。

不規則発言やヤジをとばした人は退場する旨事前に注意すべきだと思います。反対派が偏るのは説明会では仕方ない事かと思えます。パンフレットの作成、シンポジウムの開催など多方面から対話を続けていってください。

海外に行った際、老後の夫婦が楽しそうにリゾート感覚でバカンスに来ていた。うらやましかった。

職員の方々説明会ありがとうございました。引き続き頑張ってください。

- ・人の不幸を前提にした反社会的なかけごと・ギャンブルを推奨することになるIR・カジノには絶対反対です。
- ・そもそもギャンブル依存症などはIR・カジノを導入しないことが最大の対策になる。
- ・中期計画のパブコメで9割の市民が反対であり、市民の声を尊重するのであれば、カジノ・IRを導入しないという判断を行政が行うべきではないか。
- ・これ以上、カジノ関係に市民の血税を使わないでほしい。

大変お疲れ様でした。反対意見者(及び周辺の人)を見て批判の仕方、態度など見苦しかったです。一人の質問者によって、運営が影響されるので、うっとうしかったですね。進行の仕方に工夫が必要かと思いました。賛成者もいますので引き続きよろしくお願いします。横浜らしいIR計画を楽しみにしています。誘致判断、スケジュールの明示をお願いします。お答えになっていた職員さん、大変ご苦勞様でした。心中お察します。それなりにご説明分かりやすかったですよ。

このアンケート結果は公表してほしいです。

海外の成功・失敗事例は数多く示し、その上で対策などを議論して下さい。

市長は白紙と言っていた事業をなぜ今また、やろうとしているのでしょうか。家族や子供たちを依存症で苦しめたくありません。自然に親しむ公園の整備や給食や教育費にもっと大切な私たちの税金を使ってほしいと思います。

市民にもっと正しい説明を広く深く行い、最後は住民投票で決する程の重大な事柄と考えます。市庁舎建設に1,000億円かかった穴うめにカジノ導入では何とも理解できません。

本日の説明では事業者の良い面だけが見える。これではだまされた気がする。

活動家が多くてこわい  
市役所職員も大変ですね

- ☆日本人は人間的にオンコウ善人だが、そうではなく悪意を持っている人(国)があるという現実にしっかり対応できるかが不安。
- ☆外国人がハンザイをおこした時に、日本の法制度は十分か不安。
- ※実はIRカジノについての知識がしっかりある訳ではなく、感覚的意見であるので意見になっているのか？です。すみません。
- ☆カジノとIRが混合される…とありますが、両方についてもっと勉強したいと思いました。

カジノに頼らない素晴らしいリゾートを知恵と力を結集して作り、さすがヨコハマと称賛されるようなものを、と強く願います。

横浜は160年前は寒村、たかだか160年の歴史、しかし日本のどこにもない「ハマ」「ミナトヨコハマ」と呼ばれる独特の文化と色を持つ所として発展した。特に元町、山下公園、外人墓地、関内近辺はその色を魅力的不動の物としてきた。今みなとみらい地区に遅れをとっているとはいえ、この地区に住みハマの為に働きハマを作ってきた人達の努力と歴史を安易に捨て去ることがあってはならない。ラスベガスは砂漠の中で異次元を作っている特異な場所。ラスベガスを体験してきたからこそ、こんな狭い横浜に絶対にあってはならぬ物だと訴えたい。出来たら、160年の歴史の街は共存できず消滅するのは必至です。カジノという博打の街になれば、今の横浜が好きな国内観光客は逃げる！

ギャンブル依存症等、懸念事項がたくさんある中、何故IR誘致を考えている(報告書からうかがえるのは、考えているとしか思えないので)のか、理解できません。

住民目線で考えればカジノなど考えられない

説明を聞いて、さらに不安が強まった。(バラ色に描かれているので)

財政の貢献とあるが、GGRの15%(×2?)が入り、残りは海外資本へと流れていく。さらに、海外観光客は6~1割とみられている。つまり大多数の国内の観光客がカジノで失ったお金は海外に流れていきカジノで巻き上げたお金で市政を行うとはどういうことでしょうか。

説明を聞くことにより改めてカジノは絶対不要、反対です。

最後のまとめで、事業者の必要な情報を示し、懸念事項は検証し、日本型IRについて市民に説明とあるが、市長のカジノ白紙とは異なる。やる気満々ですよね。市長がウソつきなのか、政策局が先走りしているのかどっち？

カジノIRは良いもの。という説明会でしたね

- ・IRを導入した場合、ギャンブル依存症対策にかかる費用を試算しているのか、しているとすればその費用は？
- ・カジノのないMICE施設を導入した場合の経済効果をなぜ検討しないのか。
- ・横浜に外国人宿泊者数や観光客の消費金額などが増加しないのは何故か検討しているのか。

財政の問題はもっと真剣に考えるべき。劇薬を使う必要ない。

依存症の対策として、入り口対策(仕組みによる規制の導入が必須)システムな対策。

特になし

政策局が事務局であるが、どこまで市自身で調査したのか全く不明である  
カジノの利益でこの事業を進めることのビジネスモデルは間違い  
横浜の良いイメージをこわすカジノIRは絶対やめてほしい！

真に市民のためになるのか？  
これを解かないと進めないと感じた。

山下ふ頭の開発をセットで考えた際、IRは有効であると考えている。IRは確かにリスク等、万能の施設ではないかもしれないが、今だにIRを超える山下ふ頭の開発案は出ていない。横浜への理解と情熱、山下公園を生かした横浜のベイサイドのイメージに合うIR施設を誘致いただければ横浜にとってプラスとなると思う。

質問事項意見を添付します。

Q1, 報告審の内容は客観的で正確な報告とは言えず、意図的にカジノ受け入れを誘導するような内容になっています。

調査報告書(その4)は監査法人に委託した調査報告書だが横浜市の担当者は、この報告内容にどのように関与したのか？あるいは関与せず丸投げしたのか？そして、この報告書の委託にいくら払ったのか？説明ください。

Q2, 報告書p-6パブコメ記載について

肯定力な意見の例と否定的な意見の例を並べて列記していますが、パブコメ報告書を読むと、ほとんどが否定的な意見で肯定的な意見を探すのが難しいような結果なのに、その状況が反映されていない報告となっている。なぜ正確に横浜市民のパブコメの結果を知らせないのか？市はこの報告に疑問を持たなかったのか？説明ください。

パブコメ433件中94%が反対の意見。肯定的な意見は10件前後しかない。

Q3, p-6 および p-167～p-205の有識者ヒアリングについて

有識者ごとのヒアリング意見をなぜ載せないのか？意見をバラバラにしてまとめ直しているので、専門分野がそれぞれ異なる立場の有識者ごとの意見が分からないようになっています。

有識者ごとのヒアリング内容をなぜ公表しないのか？

IR導入に関しては日本弁護士連合会などがカジノ開襟推進法に反対する意見書(2014年5月9日)で日本で初めて民間賭博を認めることになり、ギャンブル依存症や青少年健全育成などの障害になることを訴えている。なぜこうした優れた信頼できる意見内容などを参考に取り入れれないのか？

説明ください。

Q4 ,p-34～の国会審議や観光先進国のパブコメについての説明の意図があいまいでカジノ受け入れを意図している内容になっているのではないのでしょうか？説明ください。

①2018年6月19日の法案を強行した時の国会討論の内容なのにその状況が説明されていないのはなぜか？自公維新で国民世論の6～7割が反対の法案を強行した時の国会でも前例のないやり方で法案を通したことが分からない内容になっています。

②法案が議員立法で行われ、その議員全員がカジノ業者からパーティ券を買ってもらったことが明らかになっていますが、売国的なことが背景にあることも事実として報告すべきではないでしょうか？

③パブコメの総数と肯定、否定の割合はなぜ掲載しないのか？Q2の質問と同じ趣旨

④p-45～

開業までのプロセスにおけるカジノ管理委員会の設置が7月1日予定だったのが先送りされているのは、参議院選挙との関係でカジノIRが国民に不評だからではないか？市は国民の世論をどう把握しているのでしょうか？

Q5, p-74～ IRの事例について

IRと観光でシンガポールの例をあげていますが、外国人観光客の増加率はカジノのない日本のほうが遥かに増加率が高いのではないのでしょうか？カジノをつくれれば観光客が増えるという錯覚をまねく報告内容ではないのでしょうか？市の担当者は疑問を持たなかったのか？説明ください。

※観光庁資料

2011年→2017年の増加率

シンガポール 132%

日本 461%

大阪 702%

北海道 489%

長崎 268%

Q6,p-54～ギャンブル依存対策について

現状の依存症は300万～500万といわれ、苦しみが解決されない状況について報告が不十分と市は思わないのでしょうか？これでカジノが解禁されたら依存症はさらに悪化すると市は考えないのでしょうか？横浜市におけるパチンコなどのギャンブル依存症の数と実態はどのように把握しているのでしょうか？

説明ください。

Q7,p-74～他都市の例について

カジノが破綻している例をなぜ調べないのでしょうか？意図的に避けていると市は思わないのですか？例えば米国のアトランティックシティなどでカジノが次々と閉鎖した実態がありますが把握されていますか？

Q8,p-94～

人口減少問題の原因・解決とカジノ導入問題は無関係なのになぜこじつけるのですか？

市税をカジノ収入に頼るという方針を市はもっているのでしょうか？（市民税をはるかに上回る額に依存することになります。）

いったん依存して、他国のようにカジノが破綻した時に市の財政破綻はどうなるのか市は責任を持って説明できるのでしょうか？説明ください。

Q 9, 情報提供者の試算についてp-146～

情報提供者の試算の経済効果の表面だけを受け、さも横浜市や横浜市民にとって経済的メリットがあるように報告されています。カジノ業者の儲けは市民が失う経済損失そのものであり、その実情を明らかにしないのはなぜでしょうか？説明ください。

①投資見込額 約6200億円～1兆3000億円

→カジノ業者は投資資金は必ず取り返すもの、海外カジノ企業に吸い上げられることになるので横浜の経済成長や活性化にはつながりません。

→しかも、何も付加価値を生み出しません。

②売上げ見込み 約3500億円～約8800億円

→市民が巻き上げられる額そのものではないでしょうか。

③地方自治体への増収果約 約600億円～約1400億円(売上げの15%)

→市民が巻き上げられた資産であり増収効果の反対側に市民の破産があります、市民の不幸で増収をはかることについて心が痛まないのですか。

④IRへの訪問者

約800万人～約5200万人

→国内観光客は約4割～約9割ということは、日本人がターゲットであることが明らかではないでしょうか。

⑤IR設置後の横浜市への観光客数

約4400万人～約7800万人

→他国の例をみてもカジノによってカジノ近隣の観光が増える見込みは期待できないのではないのでしょうか。

Q10,地方自治法に基づいた住民福祉に力を入れてほしい。

地方自治体としての横浜市は、政府が強行したカジノ推進法に振り回されて開発会社のようになるのではなく、住民生活に直結した課題(くらし・教育・福祉・中小企業振興・・・)に力を入れるべきではないのでしょうか？説明ください。

以上 説明会参加者

住みやすい横浜にするため、カジノはいりません。子ども、お年寄が安心して住みやすい街に

4月の地方選でIRの導入云々を言っている議員はいなかったと記憶(反対意見はありました)IRを進めようとしている市の姿勢は問題です。

反対！！

横浜市がIRを導入するかどうかは市民の賛否を問う必要がある。今日の説明会に対する意見でもみられましたが、この報告書はIR制度導入を前提としたと受け取られる内容となっているので疑問。

カジノ誘致には強く反対する。「白紙」としながら事業者の情報を求めるのはおかしい。誘致したいとしか思えない。経済性のみでカジノを誘致するなんてもの外！市民の不幸を前提にするカジノ導入なんてあり得ない。普通の市民生活に、カジノは必要ない。トバクは犯罪です！

害のみが増大し住民にとって益はまったく少ない。
IR導入反対 カジノのない再開発を！！カジノからの増収で市が潤っても、うれしくありません。
横浜市は汗する人が報われる社会をめざすべきであり、IR施設(カジノ)は必要ない。
経済活性化や税収確保だけでなく、市民の娯楽・楽しみとしても有益な取組と感じました。依存症や治安対策をしっかりと検討した上で市民の利益となる判断をしてもらいたいです。お疲れさまでした。
海外には成功している事例もあるのだから、財政の収支不足が見込まれる中で是非そういった施設を目指しIRを上手く活用して、横浜の活性化につなげて欲しいと思った。賛成の人は不安や疑問が無いのでパブコメ等でわざわざ意見を言わないので、反対の比率が高くなっているのではないかな。
政策局が政策局になっていないのがショック。プライドないの？市長の強い指導があったのでしょうか。市長が明確な見解をすべき。
市民の9割が反対していることをなぜおし進めようとするのか。
カジノの含まない健全な型でのIRであれば地域の発展に寄与すると思料する。カジノが必要不可欠であれば、IR自体が非である。
なんの為の説明会だったのか？こんな力のない政策局はいらない！！人事刷新を！（市長含めて）この進行は何だ！カジノを含まないIRならば脈はありそうだが(乱筆失礼)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・IRを導入するための説明会のように思えた(IRありき)</li> <li>・市民の意見が市としてわかっていないのでは。9割が反対(パブリックコメント)</li> <li>・ギャンブル依存症対策をもっとした方が。今もすべきだ！！→今だ対応できていない(今でも対応できてない)</li> </ul>
今回初めて参加させて頂きましたが、大人らしいマナーを厳守していない方々、質疑応答をして頂きたかった。
反対の人の言う通り、今回の調査報告書は中立性に欠けると思いました。うまく進めないと実現できなくなると思います。
初めから「結論ありき」の説明会の気がする。 IR制度の説明も推進派の主張と同じであり中立的でない。
報告書は中立的ではなく「推進が妥当」という方向に誘導したい、という意図がまる見えである。
疲弊した横浜の経済活性化にはIRが不可欠です。絶対に実現して下さい。市と市長の決断力が問われています。

個人としては前向きにとらえております。  
国の指針発表後、事業推進は大変かと思いますが、期待しています。

・財政が厳しいからカジノっていうのは筋が通ってない。  
・財政が厳しいのは横浜市民の責任ではない。  
・財政が厳しいのなら、国から交付金を引っ張ってくるのが、行政の仕事。カジノを引っ張ってきてどうすんの(笑)横浜は東京のベッドタウンなんだから、法人税が少ないのは当たり前。しかも、しゃかりきになって港北ニュータウンを造成したのは、あんたら横浜市(笑)自己否定もはなはだしいぞ！

リスクについての説明がないと、質疑応答で意見があったが、そのとおりだと思った。

説明会資料に「事業者より提供」などとして、楽しげな健全なイメージのような感覚をふりまいていること自体がこっけいに思われます。  
横浜のような多くの人が住みたがる街にギャンブルの施設など不要です。長年愛して住んでまいりましたので非常に気になります。MICEに関しては問題ありません。カジノ抜きのIRを考えるべきです。

説明会は、急であり、少ない。なぜ各行政区でも100名規模で行わないのか。市長は市民の声を聞いてといいながら推進に向いているではないか。市ギさんも市ギ選で7割の人が反対を表明していた。公約守れ。

18区で説明会やった方が良い。パチンコあるのにカジノは不要。大阪3社、横浜市12社、政府の言う通り従うなら市会議員86名市長1名もいらぬではないか！  
32P 海外観光客 約6割～約1割の書き方は単純なミスか？

白紙とは言いますが、誘致プレゼンと勘違いするくらい市の前向きな姿勢を感じました。内容的に反対意見がなくなることはないので、市のリーダーシップが問われるかと思えます。

IR先進国(シンガポール、マカオ)がアジアにあり、日本にこのために来日する海外客は少ない。もっと日本の良さを出せる独自性のある事業に予算を投ずるべき。

トバクが成長戦略の基本であるにはおどろいている。  
実施しないでほしい。

若い方が横浜以外へ引越していくのはなぜか？  
保育園が少ない。内容が悪い。子育てにくい市政だ。早々にIRはやめるべきです。

事業者中心の調査ではなく、カジノなしの観光立案も考えなくては正確な調査とは言えない。広い視野をとって特に中区を中心とした地元の意見を聞いて進めるべきです。韓国のカジノはうまく機能していないと聞いているが事業者報告では良い点しか評価していないのが問題である。本日の説明会では多くの市民がカジノ反対の意見を表したが、必ず市長に報告を！

一般市民にもっと多くの機会を作りPRすること。当初反対であったがやや考えが変わってきたPR、・PR・PR。説明を聞きよくわかってきました。

是非、カジノとIRを設置してください。賛成の意見も聞いて欲しかった。
IRについて白紙なら他の選択肢も示し、住民投票を行うべきである。
横浜にカジノはいらない！市民、納税者の意見を聞け！カジノ誘致前提のこんな調査に税金をつかうな！
理解が深まりました。ありがとうございました。
IR問題は全市民的な討論が必要である。社会的被害の大きいIRは横浜に日本にいないと思います。
たった1時間で市民の意見を聞くことは無理ですよネ！！業者の出した資料をまとめて出ただけですよネ！！それはIRを進めようとしているとしか思えない。中学校には給食もないのに、何考えているのか判らない！！
市民の多数の意見が反対の場合、IRをやめるということを市として表明してほしい。この点約束できますか？
まともに討論できる場を設けるべきだ IR=カジノありきの説明会はいらない
MICEは結構だがカジノ導入には反対
お疲れ様でした
「カジノ収益により採算性の担保」「増収効果」にうらずけがない、とらぬタヌキの皮算用です。カジノで外国からの客は増えない。赤字を埋めるため、結局、国内のギャンブラー依存症を増やしを呼ぶことになる。
客のターゲットは→横浜市民や周辺市民だと言う事を事業者が行ってますヨネ。絶対反対！！デス。。依存症患者増加を増える事は市政としてフォローしきれないと思いますヨ！多くの市民/国民の反対の声が多いのではないのですか？！討論回数を増やして欲しい！！その他3者事業者の名の公表を願いたい！！
市民の意見を聞く場をもうける事、カジノありきの一方的な説明ではおかしい
精査していかないとわからないのでという答えをもらいましたが、ギャンブル依存症については既に患者が存在しており、その件について説明がきちんとならないことに納得できない。明るい面ばかり強調され負の面について殆んど話されていない。カジノはしよせんトバクです。あがりか税金になるなんて悲しい。IRは絶対許せません。

どのようにきめていくのか、整理して市民に周知。何を調べたいのかわからないまま調査しても仕方ありません。市民の意見を聞いてください。

市民の声を聞いてほしい。市民をまどわす数字の表記はしないでほしい。カジノは反対です。

人口減少時代にはコンパクトな市域が必要。大規模開発は止めよう。カジノは明らかに日本人のフトロコ狙いである。人手不足が助長されるだけ。有識者なる者は誰がどういう基準で選んだのか。

事業者の意見を聞いても市民の意見を聞こうとしない。反対の声が多いのに推進しようという説明会は意味なし。今、市民にとって必要な施設はIRではない。説明会でなく市民の声を聞く会にしてほしい。必ず開いてほしい。カジノの収益をあてにする市、財政、健全ではない。カジノはリスクが多すぎる。依存症などの心配をしながら推進するのはおかしい。

政権の要請を受けて、横浜市民を不幸に陥れ、横浜の品位を汚すものである。そして、政権はアメリカ大統領の為に、アメリカ大統領の友達に利益をもたらす為に、国民の不幸をかえりみず日本にカジノを導入しようとしているのだ。

・パチンコの依存症の問題を解決してからIRの計画を！！難題です。  
・住んでみたい都市の最上位になった横浜。その魅力をもっと調査研究して、その魅力を伸ばして、住人を増やして、財政を豊かにしていく。いかがでしょうか。箱物はいつか廃れる。

市が整備へ本腰の劇場、IRとの附帯にて作るのか、わかりませんが、反対です。  
※推進ありきのような説明会でした。人口減少社会がわかっているのに、税金をつぎこむこと自体おかしいです。他につかくこと、沢山あります。横浜静かな昔の200万人位の年に戻ってほしい。うらやましく思われてました。今はとてもとてもIR何か出来たらよけいに。

①この内容で僅か1時間というのはあまりにもおざなりです。資料も誘導が過ぎて信用に値しませんし、アリバイ作りとしか思われません。  
②それまではまあ普通の行政の説明口調だったものが、「海外IRの事例」や「事業者からの情報提供内容」の部分に入ると、急にまるで業者の広報のような調子になりました。なんですか？！  
③人口推移や財政減見通しなどなどは他都市も同様のはずですが、その点については他との比較を示さず、導入に都合の良い点だけは東京や大阪との比較を示しています。説得力がありません。  
④横浜にバクチ場は、いりません！導入を強行して、もし将来、懸念が現実のものとなった時、市長や現市幹部はどう責任をとるつもりなののでしょうか？まずはこの点の見解を聞きたい。

1. この報告会で、市民のIRについて理解が出来たとしないこと。
2. 山下ふ頭の再利用について、カジノなしの計画も取り入れるべきです。
3. カジノは反対です。

日本型IRについては、その内容、主旨、効果など、市民、地域がより理解を深める必要がある。カジノのみで可否を判断するのは容易であり、横浜市の取り巻く環境、将来の見通しを踏まえ総合的な視点で、その方向性をつけるべきと考える。又、事業を進めるにあたっては周辺地域とのつながり、発展、住民・企業等への貢献は不可欠であり、その視点を意識した検討が必要とも考える。1兆円規模のじぎょうという過去経験のないことであるので、様々な意見を踏まえ、早期に事業の可否を決めてほしいと思います。

カジノは治安の悪化につながる  
税金はいま生きることも、大人の未来のためにつかってほしい。  
カジノ調査に無駄使いしてほしくない。

職員の一人として横浜のあり方を真剣に反映させていく姿勢をつらぬいてほしい。

- ・バクチで得たお金を自治体活動の財源とすることは基本的にまちがっていると思います。負の対策に対する自治体の負うリスクが大きすぎると思います。自治体位健善であってほしいです。
- ・将来の税収減を言っていますが、税の使い方と集め方に大いに検討の余地あると思います。
- ・精神科医師の講演を複数回参加しましたが、現状でも依存症対策は不十分。カジノ対策には対応できないのが現状と聞いています。

横浜市の態度はひとすぎる。職員はもっと市民の立場でガンバッテほしい！！

説明会では、反対が多いことがわかりましたが、今後のIR是非のプロセスを市民は知りたがっているのではないか

18行政区それぞれ説明会をやり、市民の意見をしっかり聞くべき。今日の説明会は調査報告という名の推進報告そのもの。「中立という名の推進説明」はおかしい。

私は民生委員・児童委員をしています。子どもらの健全な育成のため努力していく上にもこのIR・カジノの導入は全く逆行です。ギャンブル、トバクと青少年の育やかな成長は全く相入れないです。きっぱりIR・カジノは中止にしてください。

必ず、全区で充分時間をかけて説明会を開いて下さい

説明会という名の場作りだけだとよ〜く分かり、がっかりです。

報告がIRありきと感じた

・不要な説明が多すぎる。20分くらいでまとめよ→質問・意見に40分を配分せよ ・そもそも今回のような重要なテーマをたった4ヶ所、380人まで、平日の夜1時間での説明会で済ませようとしているのが、おかしい。 ・政策局の職員は”公僕”を再認識せよ！ 国や市長のロボットを脱せよ！

・これ以上IR・カジノを検討し、説明会を開くのは税金の無駄使いである。 ・ハーバーリゾート(山下ふ頭)で進めるべき、IR・カジノと山下ふ頭を結びつけるべきではない。 ・「関心がある」勿論カジノをやって欲しくないから関心がある。 ・税収が少なくなってくるからと言って何故IR・カジノだけ検討するのか？理解できない ・他のハーバーリゾートで十分に税収増になるケースをきちんとスタディーすること。 ・ギャンブル/カジノは絶対やるべきではないという事が解った。

日本には公営ギャンブルが既に多数あり、人口減少していく中で依存症増大を心配するのはズレていると思う。反社会的勢力を排除すれば、カジノもOKである。大声出すだけの市民とは対話したくないですね！！市役所の方、ガンバってください。

参加者が反対者にかたよっている。入場料や、入場回数による制限があることを先に説明して理解を求めた方がよかったのでは？反対者がIRに対する理解・勉強が足りない。依存症に対する不安を市がぬぐえていない。

調査報告書の説明だけでは、納得されない方も多いので、あまり説明会をやることに意味がないような気がします。私は賛成のスタンスですが、あまりに横浜市スタンスがなさすぎて、賛成の意見も言えなかったです。ガス抜きにもならないし、少なくともこの会場での説明会は労力の無駄な気がします。

36～37ページの有識者コメントが極めて当り前の内容と感じます。もう少し踏み込んだ意見を望みます

横浜の一等地を大企業のもうけの、場所に提供するのがねらいじゃないですか 子供の喜び楽しめる施設を考えたらどうですか

・何のための説明会だったのか。意味の分からない説明会だった。 ・市がIRを進めたいことは分かった。 ・カジノ導入はやめるべき。

市民の多くが反対しているIRはやめて欲しいです

経済的効果を考えるに安直すぎると思います。失われるものも多い。まず、横浜には見切りをつけて他県に引っ越したいと心から思っています。

「やる」を前提の説明会は必要ない！説明する方々もそう思っているのでは？子どもたちにこんな横浜を見せたい？住ませたい？「カジノIR」やめましょう！

依存症が最初から懸念されるのなら、最初からやるな！！もうけは企業で、依存症対策は国市がやるのか。観光客は、特に外国人観光客は、日本の歴史、自然を見にくるのであって、カジノにくるのではない！！市民の意見を聞け！！

もっと横浜の魅力を出すことで観光客をよびよせる施策を考えるべきで、ギャンブル依存など大きなリスクをかかえるこのIRは不相当と痛感しました。

横浜市の発展のため色々な可能性、選択肢を検討してほしい。

地域振興は良いことだがカジノは不要。カジノ抜きで考えて下さい。子や孫が遊びに行く地域の治安が悪化し不安。カジノなどは横浜の恥！市の歴史の汚点である。先般の市会議員選挙で新人候補をトップ当選させたことが我々有権者の強い意志であることを忘れるべからず！

カジノは絶対反対

税収を増やすためにギャンブルのお金をあてにするのはいやです。依存症対策の中でマイナンバーカードや顔認証システムとなっていますが、「マイナンバー」カードを持っている人が少ないのにどうするつもりですか？（雇用が増えると云いますが若者が少なくなり労働人口が足りなくなるのにおかしいと思います。）

依存症＝病気である。＝神奈川は”未病”をうたっている。ギャンブル依存症がある以上IRは反対。対策しなければならぬ計画は反対。魅力ある横浜にすれば人工増え、市民税増える。子供や若い人に横浜に住んでみたいと思える政策を。IRで経済効果をあげるのには反対。事業者に提供を求めているが費用はいくらなのか、調査に費用いくらかかっているのか。今の港のままがいい。自然が全くない中でIRは不安。IR設置と決まったような調査内容と思った。

今日の説明会では横浜市がIRを強力に推進している印象がある。選挙で市長は”白紙”とおっしゃったはずですが。政治的な偽りのパフォーマンスであったのか友人を含めてIRに反対している市民は多い。歴史のある美しい横浜にカジノを作ってはならないと思います。一時的にはうるおうでしょう。しかし、子孫にとって禍根を残すことになると思います。市民は横浜を愛しています。一時的な金のために取り返しのつかないことをしてはいけません。アメリカ・ニュージャージーの、廃墟と化した地域を見ましたか。

市民の圧倒的多数がカジノに反対です。名前をIRに変えても実際の中身は変わりません。市長も市民の声に配慮し、前回の市長選の際には、IRに対する態度を白紙としました。もし対応を変えるなら、住民投票を行うなど、市民の了解を必ず取ることが必要だと考えます。

課題の多い施策ですが、進む先はありますので行政として頑張ってください。

横浜の財政を考えたらIRを導入すべし。他に方策は見当たらない。

事業者からの情報提供の内容を客観的に精査してから転載すべき。日本型IR制度の目的の説明は、目的に即した内容になっていない。(シンガポールの例や国の提示した内容を掲載しているだけで(日本の中の)横浜が見えてこない)事業者の声、協力してもらい検証する必要性を主張されていたが、検証は全くしておらず、この結果をもとに説明会は時期尚早、検証不足である。

IR説明会ではなく、その他の検討をして欲しい

カジノなどのギャンブルで税収を増やそうなんて恥です。ヨコハマは未来に建設的な施策たとえば、青少年への教育、文化施設、高度な研究施設、体験型図書館など充実させ世界に伍(リード)していく、人材を育てるのが先です！子どもを連れていけないようなケイサツがガードしなければならないような場所をつくらないで下さい。地元の住民や産学の特性をないがしろにしてやるべき事ではないでしょう。

税収が見込まれるかもしれないが、そののほとんどはカジノで負けた人のお金であって、人の不幸の上に成り立つ税収で喜んで良いのか？ギャンブル依存症対策を立てている様だが、港北区の(小学校の→港北在住の人も受けられる)カウンセラーは1人しかいなく、2ヶ月先まで予約がとれない状況なのに、IRになると、そんなにたくさん財源をとれるのか？横浜市は財源がないのでは？依存症になったら、無料で受診してもらえるのか？中区には、有名な私立の学校等がある、治安が悪くなり東京の学校が人気が出るのではないか。

富裕層観光客が一時的に植えたとしても、その後増加し続けたり維持することに関しての見通しが不透明すぎる。その後運営する費用が維持し続けていくとは思えない。維持するときは税金も使われていくような気がする。カジノは反対です。依存症は予防できないと思います。

「カジノの収益により、大規模な投資を伴う施設の採算性を担保」する日本型IRは、カジノ無しには成り立たないビジネスモデルであることがよく分かりました。にもかかわらずカジノ事業の内容についての説明がないのは、説明として不十分だと思いました。カジノですった金で採算性を担保する構造の不健全さが一番の問題だと思います。必要性については横浜市が金がないからというだけでは説得力がないと思います。より健全な方法で税収を増やすべきだと思います。ギャンブル依存症とその対策についての説明の認識は甘すぎる。もっとしっかり実態について調べるべきです。そうでないと信用できません。

IRについての判断はしていない、とのことでしたが、山下ふとうに大規模なMICEを作るのならコスト面からみてもカジノを併設しないと維持できないとお話がありました。そうすると、結局はIRを導入することが決まっているのではないのでしょうか？「～ありき」で物事が決まっているようで市民の考えを尊重しているようには思えません。

すでにやること前提の説明にガッカリ。横浜の今までの観光のやり方で十分に魅力的だと思う。税金をこんなことに使わないで中学校給食やって下さい。市民のために税金を使うことの方が有意義だと思います。カジノはトバク！！絶対にやめて！！

税の使い方を変えればよいのでは。箱物はこれ以上いらなないです。

今の横浜のイメージで良いのでは どうしてIRを考えるのか 経済的に 財政が良くなるのが市民の生活をこわしてと思える。対策を考えるより原因を造らないほうを望みます！

P21 法人税収入…比べるなら「東京都 対 横浜市」はおかしい。比べるなら同面積又は同じ人口の「23区のどこかの区」と比べるべきでは？意図的な資料作りは反対！！依存症も、事業者プレゼンの内容も検証はこれからなのですか？そんな状態での説明会開催はヘンですよね。「カジノ、いる？いない？」シール投票(各駅)の活動をご存知ですか？シールの「賛成、反対」の割合をよくごらんください。市にも渡されているはず。協力している事業者は、IR導入になったら入札業者になる会社なのでは？？それは参考にしちゃイケナイ

鶴見区でも開催して下さい。

事業者のプレゼンテーションのまとめという形を取って、横浜市がIR・カジノの導入を進めている意思を表明した報告書という印象である。唯一のメリットとされている経済効果と財政への寄与については、根拠が希薄である。

今回は市からの報告だけだが、依存症や観光の専門家の話も聞いてみたい。市民全員で市が調査の過程で学んだことを同じようにゼロから学ぶべき。賛成の人、反対の人それぞれの話を聞いたうえでないと、自分の意見は決められない。

見切り発車では無いかと思います。まだ”白紙”なんですよ？

賛否両論あるだろうから専門家(有識者)による審議会を作る必要があるのではないかと。横浜市の一方通行では納得行かない。反対派もいる。賛否派共に納得の行く形で進めて行くのが良いでしょう。スライドP4有識者に刑事法、犯罪学者が不在である。もう少し治安、犯罪に焦点を当てるべき。

市民の方を向いてほしい

横浜にとって、有益とは思えない。反対です。

ギャンブルは依存症がなければ良いのか疑問です。健全な娯楽でないものを公的な資本を投入するのは大変疑問です。また海外での失敗例もあり、様々な危険が懸念されていることを進めることは反対です。

働らかず、人のお金でもうける等子供たちに与える影響も悪い。パチンコでさえ依存症になるので(又今でもスマホ等のゲームも)また、今の状況だけでも解消させてほしい。経済面だけで(税収を)プラスを説明しているが、保育士や教員等を大巾に増やし、経済の活性化をはかったほうが良い。やる方向で調査をするとのことにきこえた。そのため調査費用を予算化し税金がつかわれている。無駄使いである。カジノからの収益で依存症対策にあてる等どう考えてもおかしい。そのおかしさを感じない事がさらにおかしい。IRは絶対にいりません！ 調査も必要ない！

①カジノなくしてIRが検討できないのであれば、そのような対応は税金のムダ使いだ。②事業者の報告を情報提供を考慮してカジノをすすめる方向が示されており、有識者の意見、特に懸案へは考慮されていない調査結果でしかない。

市民に影響が大きい計画、市民の大多数が知らされていない中ですすめるのはどうか？アンケートの集計結果を必ず新聞等のメディアで発表してください。

観光・経済振興のためにIR導入に賛成です。ギャンブル依存症は、IRがなくても競馬・競輪・競艇・パチンコ・スマホゲーム・・・など自制心の弱い人がかかるものと考えます。今回の説明会がIRありきという意見が多かったですが、住民勢のスタンスは反対に偏っていたと思います。

市長が白紙といっているのに、説明会の開催とは、どう考えても結びつかない。やはり、誘致することが前提の説明会だと、誰もが思うのではないのでしょうか。

横浜市にカジノはいりません。カジノを除いたIR計画を望みます。港湾事業者の計画を支持します。

もっと横浜市を良い街にする為の頭を使ってください！税金を使うならそちらに使ってください

まず初めにカジノは反対です。1.4区380名の説明会にした理由は何ですか？3.今後残り14区でも説明はなされますか？2.パブリックコメント1234名から提出された意見のうちカジノに反対する意見829件。4区380名に対しての説明では少なすぎるのではないですか？4.説明会に使用された資料は市のHPにのりますか？

①横浜市がIRを推進(?)するにあたり、市民投票等の賛否を問うて行うべきものと思料。②経済効果についての巾が大。どの数字を考えて良いのか不明。③市(民)の負担はないのか?いつ市として判断するのか。市民に情報開示すべきものと思料。

原発と同じだと思う。

市民説明会を各区で開催し、それを広く市民に広報すること

カジノを含むIRの計画は人口減少による減収の落ち込みをカジノからの税収増にあてるといふなんともおぞましい発想であることが鮮明になった。市民の暮らしを守ることに責任を負うべき。行政・地方自治体がやるべきことではない。

市民のIR反対の声を判断の第一にするべきである。

横浜市の税収不足は一つの考え方としてわかりました。ただ、IRを設置した場合の増収効果が裏づけがないと、報告書にはない誘致にかかる費用(たとえば固定資産税を減免するなど)を含めて本当に横浜市の税収に寄与するのか、疑問が消えません。また、税収増のほとんどがカジノ入場料や納付金でまかなわれることに抵抗感はぬぐえません。

競争の激しい東京の私立中高に勤めていたので、学校でも経験あり、企業でもある面があり、ブラックブラックで働いてきた景観から、市の政策局の職員の方々がかわいそうです。市民がIR誘致に反対していることがわかっているのに、市長の意思でIRを調査をし、説明会をしなければならぬ。横浜の今在る魅力を調べ上げ、魅力を倍増させる工夫と、発信していくのが仕事では?「白紙」と言った市長が説明会に来るべきです。

入場者全体としては負けるのだから、ローン払えずホームレスになる人への対策、安い公営住宅の充実、失業対策、生活保護充実などが検討されていないのがおかしい。カジノ導入による他のギャンブルの減収、IR施設による他の商業施設の減収が検討されていないのもおかしい。法人市民税で21ページに東京、横浜、名古屋、大阪と比較するのは、恣意的。横浜だけが東京の通勤圏で、他の3つは中心的な都市。

横浜市なので、市民の考えをもっと聞いた方が良いのでは。過半数の市民が反対している中で進めると、横浜市が大変なことになるのでは。カジノはあきらめて、別の開発にしていくなかと思ひます。

行政トップが上からカジノ博打を推奨し、拡大するとは信じられない。カジノに支えられたIRは地域経済を破壊すること間違いがない。スカイツリーは地元繁栄につながっていない。市民に意思決定権。市民投票実施をお願いします。

社会福祉の仕事をしているものとして、明らかに依存症を招くカジノ施設の設置には反対します。ギャンブルに限らず、薬物、アルコールなどへの依存は「病気」です。「病気」を招く恐れのある施設を税金でさらに建設することは賢明な施策ではありません。(競馬、パチンコなど、すでにギャンブル施設が溢れている現状さえ異常です。)子どもや孫の世代に誇れる横浜を引き渡したいものです。資料P24に依存症対策経費として4,000万円(0.4億円)計上していますが、対策として極めて少ない。何よりこうした経費がさらに必要ということ自体が異常ではないでしょうか？

市長選の時、カジノを棚上げしたのに、何故IRを行うのか。市民をだまし討ちだ

横浜市にIR誘致する必要性は喫緊の課題であり、このチャンスを逃すと自治体を維持していく活力(特に経済面)は著しく低下すると思う。ただ、導入すればバラ色である事はなく、自治体と事業者が相互に継続したIRを構築し、街づくりの視点で広域に戦略的に開発していくべき。横浜市の内陸部との格差を無くす計画としていくことが望ましいです。それにより住民理解が深まると思ひます。

IRは反対です。

今日の市民の意見はすべて市長に文字にして渡すこと。政策局副市長全員が読むこと。人の不幸を創り出し倫理的に許されざるもので、金もうけ税収を得るといふこんな横浜に誰が住み続けたいと思うのでしょうか。

事業者に言われるがままの資料のように感じました。ギャンブル依存症者対策の具体性に乏しいと感じました。パブリックコメントで9割がIRに反対なのになぜ進めようとするのか？質問にもありましたが、財務分析が圧倒的に足りないと思ひます。新事業を始める前に他にやるべきことがあると思ひます。東京に比べ住民税が高く市民サービスが低い。やるべきはIR推進ではないと思ひます。もっと市民の声を聞いてほしいです。

ギャンブル依存症対策の効果を示して欲しい。まず、パチンコ・ゲームなどの依存症対策を徹底してやるべき。不規則発言が多く時間が損なわれていた。ガス抜き場ではないので、規律ある運営を徹底して欲しい。年齢層に著しいかたよりがあった。アンケート結果区別&年齢別で示して欲しい。

説明会に市長は出てこないのですか？市民の声を聞くことのできるいい機会だと思ひますが・・・全区で何回でも説明会やってください。「カジノより給食・保育・老人施設」

IR実施を前提に進めていると感じました。市の方針は間違っています！

<p>同じような説明会ならこれ以上開催する意味がない。出直してきてください。</p>
<p>横浜市のスケジュール(調査～検討～(市民投票?)～意思決定)を出してほしい。横浜市がやるとしたら、他のIR都市との差別化として、何を重視するか。</p>
<p>海外へのIR施設へ何か所も行っているが、カジノはほとんどせず、エンターテインメントを楽しんでいる。カジノへ行くか行かないかは個人の趣向性によると思う。</p>
<p>絶対にやめるべきです。社会的損失を考えていない(治安の不安・家庭崩壊)市民は求めています。安全安心な社会でも無いのにIRなんてとんでもない。</p>
<p>最初にカジノありきは承服できない。</p>
<p>観光の目玉になるような横浜らしい集客施設が必要だと思う。また、家族連れが楽しめる所にした方が良く思う。カジノ、ホテル、会議場、ヨットハーバー、ショッピングセンター以外で子供連れが楽しめる施設は何かないのか?</p>
<p>質問にならない質疑応答がムダ、ただの意見をぶつけている人がいるので意見公聴会として別で設けるべき</p>
<p>市長はこの前の選挙で「白紙」といって当選した。一連の調査はこの公約に反している。アンケート結果は公表すべきである。</p>
<p>横浜市の経済状況の比較が東京23区、大阪市、名古屋市であるのに対し日帰り・宿泊、観光客の消費金額の状況の比較は東京都、大阪府であり、適切な比較、判断材料ではないと思う。宿泊施設数比較も掲載してほしい。全国の宿泊施設を検索しているが、横浜市は宿泊施設が少ないと感じている。宿泊施設が少ないので他へ流れてしまっているのではないか。あと、横浜に観光に来る人は高い金額を消費する人は少ないのではないか。高額施設より低額施設が多い方がいいのでは。</p>
<p>「今は白紙で、検討するための調査」との説明だったが、事業者提供情報の根拠が全く不明だ。これを明らかにしてほしい。横浜市の財政負担はどうかを示してほしい。カジノはギャンブル。これで経済を回そうという発想自体が貧困だ。やめるべき。「カジノ推進法」できたから合法だとの説明だったが、法律を作ったこと自体がおかしいとの認識を強く持ってほしい。</p>
<p>カジノ抜きでの横浜の港再開発してほしい。</p>
<p>・大企業優遇をやめれば法人税収が増えると思う。・トバクを推奨するなんておかしい。IRはやめるとはっきり表明すべき。・福祉に力を入れて、弱者を助ける施策をすすめて下さい。そういうところにお金を使って雇用を増やして下さい。・富裕層のためのIRは必要ない。庶民が置き去りにされる社会はおかしい。</p>
<p>会場大半は反対なのではないでしょうか。進めていっていいと思います。</p>

IRありきである。税制度を根本的に改善してほしい。市民税を累進性にしてほしい。法人市民税も累進性にしてもらいたい。少子化対策をきちんとしてもらいたい。保育園・幼稚園の無償か。小児医療費は18才まで無料にすべきである。中学校給食を導入すべきである。

横浜の税収が、名古屋、大阪より低いということにショックを受けました。(人口当り比較では、相当低いのでは?)私は、こういう説明は初めてですが、皆さんの抵抗が非常に強いのに、ちょっとびっくりしました。これはIR反対だけの問題ではないのではないか、と思えてなりません!!世代別の意見は、どうなんだろうと思いました。

カジノ収入に頼らない、各事業のサービスがお客、(住民のニーズに合ったもの(これからの検討課題と思うが)になるのかどうか。失敗事例とその検証について知りたかった。成功事例からでなく不良事例から学ぶことも一つの手法と思う。

市はIRを無しとなった場合、山下ふ頭の市有地をどうするつもりなのか?  
市の少子化・財政悪化の根本に向き合って対策をとるべきだ。財政赤字の穴埋めにバクチのテラ銭を当てようとするのは、自治体の取るべき方策ではない。川崎市は人口が増えているではないか。

シンガポールの場合、自国民の入場料が1万円であり、自国民より台湾等からの観光客からの収入を主としている。  
日本の場合、我が国民の割合が下手をすると9割となるので、カジノの収入はプラスにならない。

山下ふ頭の倉庫等は、南本牧等への移転完了しているのであれば、早期に着工し、早期の運営開始を行うべきと考えます。まだまだインフラもこれからなので、約10年近く完成までにかかると思定されます。時代のスピード感が重要です。ふ頭なので、港湾の企業の影響力を排除して、対応を進めてほしい。可否の市民投票を実施して決めることは正しい。

説明に来られた市の職員さんは仕事楽しいですか。しっかり回答してください。  
カジノは必要ありません。白紙といってもそれだけ検討しているのですから答えてください。  
税金をたくさん使ってIRを造って、失敗した場合は、どなたが責任をとられるのでしょうか。市長ですか?市の職員ですか?  
依存症となった人たちへの医療費や生活費などは、横浜市が保証されるのでしょうか。社会保障費がけずられている。中で、市民近隣の県民の生活を守れますか。市長や市の職員の皆さんが保証していただけるのでしょうか。カジノを作る労力を市民の社会保障を充実させることに使ってください。

市役所移転にともない、関内地区の活性化が問題になっているが地域の整合性の打ち合わせはどうなっていますか。  
何か特別な団体が組織的に動いている説明会のような気がする(方法論を考えてみたら)

大阪市にゆずれ!!

カジノ以外の施設だけ作るという事はあるのでしょうか。会議場など。

最終的な決定(カジノを含むIRの導入の決定)にあたっては、横浜市民の住民投票を実施すべきである。市長の独断で勝手に決めるな！！

- ①※現段階において、日本型IRを横浜ではやるべきではないと思う。  
②国は国であり、横浜市は横浜市の独自性を大切にしてもらいたい。  
③カジノの収益により、大規模な投資を伴う施設の採算性を担保しようとするのは無理がある。甘い、甘い。  
※カジノはIRのほんの一部であるにもかかわらず、全体のような誤解を生んでいるため、しっかりとしたMICE、IRについても説明が必要である。  
・ユニバーサルやディズニー的な大きな目玉が、の誘致が必要である。  
・横浜市のしっかりとした指導性が必要である(MM21、横浜6大事業、金沢埋立などの前例)  
・説明会においても、まずMICEやIRの説明をしっかりとした方がよいと思う。

「カジノ」と一体が前提条件となっており、反対である

カジノは絶対やめるべきだと思います。弊害が多すぎます。ギャンブル依存症対策を根本的にするのなら、ギャンブル施設を新設しないことが当然です。横浜市が引き受けるべきではありません。

カジノ反対の思いを強くする結果となった。

IR楽しみにしています。

ひとつでも小さくても不安があるものは「やらない」と判断すべき。地方公共団体の役割は、住民福祉の向上です。IR導入による懸念(治安悪化や依存症)は、福祉の向上とは真逆と考えます。子育て世代の人口や雇用を増やす施策は、保育園学童保育を増やす、中学校給食を実現する、子どもの医療費を18歳まで無償にする。学校の先生を増やす、30人学級にする、など福祉の向上、子育て支援の充実施策はたくさんあります。横浜の遅れているこうした施策を実現すれば雇用も増え、子育て世代も安心して暮らせる街になると考えます。

検討自体をやめるべき。市民の多数は反対だ。ムダなことはやめるべき＝検討する費用、時間のムダだ

SDG'S(持続可能)を横浜市も広報などでうたっているが、それに真逆な方向であるとわかりました。

白紙は本当に白紙にして。もっと他の大事な事を検討してほしい。

カジノが白紙と言いながら、カジノは横浜市にとって良いことばかりの調査結果が出されているのは疑問に思う。最終的には市民投票すべき。

すぐ入れる保育園、良い給食のある中学校、これらがある街へこそ、若い所帯の移住が増えるはず。誰も博打場のそばで子どもを育てたいとは思わない。誰かを破滅させて、豊かな社会などありえない。ギャンブル依存症は不治の病です。全区で説明会をするべき！！

IR、カジノを横浜だけでなく誘致・導入に反対です

アンケートの使い方について説明がなかった。極めて不満。白紙なら弁明するな！

横浜市は絶対にカジノ誘致しないしてほしい。子や孫たちに「巨大トバク場」という負の遺産は残したくない。「成長戦略」という発想が普通と思えない。他人の不幸を種に町が発展するなどありえない。現在の横浜の集客状況を見れば、カジノで集客という理由づけも説得力はない。外国人宿泊者が伸びればいいという短絡的な発想ははなはだ疑問だ。”日本型IR”の説明はされた気がしない。してないですよ。

子育て支援、教育、介護、医療などにしっかりと取り組み、住みよい横浜市にしていくことで人口減少に歯止めをかけていくことができる。ギャンブルに手を染めた横浜市は、負けてしまえばさらに住みにくい市になっていく。今なら引き返せる。まっとうな市行政を。カジノIRはやめて！

様々な事を検討中との事ですが、次の説明会はいつですか？ 同時にカジノ調査会なる部会のようなものが生まれるようですが、カジノ設立が前提で進んでいるのでしょうか。

ひどい資料「くり返しになります」「ご理解いただきたい」はやめてほしい。理解できない内容をくり返し答えないでほしい。くり返しの内容で理解できない説明は無意味です。

土日にも説明会を開催してください。

市民の9割が反対のパブコメを無視するなんて本当にありえない。医師の方が発言された音声又は文字起こしをきちんと共有して理解してください。市長は不誠実。市民の意見を市長に説明してください。カジノいらない！！

ていねいに説明をされる姿勢は大切と思いました。

横浜で子育てをし、孫を育てています。IRのなかのカジノの面積は限られているとかいてありましたが、カジノはとばくです。昔からあわよくばもうけようとたくさんの方がはまり、人生そして家族を苦しめてきています。横浜市は美しい景色があり、それを大事にアピールすれば十分魅力があります。誰一人そんなものを作ったことで人生を狂わさないように、決してカジノを作らないでください。作らなければ依存症対策も必要ないと思います。カジノの収益で観光施設を運営する必要はありません。市内全区で説明会をひらくべきだと思います。

カジノ賭博場誘置は、倫理的に誤りであるので、IRはやめてほしい。

20年～30年にわたってというがカジノが永く続くとは限らない。地域がつぶれていく中で、大きな箱が残り債権は不可能になるだろう。絶対反対！！IR 国の成長戦略とはびっくりだあ。

IRはプラスの事も多く、賛成の意見も言いたかったが、ヤジや暴言が多く手を挙げられなかった。説明会の方法として、手を挙げない人以外が発言をした場合は退場にさせる事や、おひとり〇分までとか、ちゃんと司会の方が仕切ってほしい！ 勝手に発言した人に対して、解答や、対応はしないで良いと思う。

地方自治体は市民の生活を守る立場に立つべきだ

・資料の情報がとても不足しています。資料を改訂してください。説明会のいけんを元に  
・カジノをふくむIRだのみで横浜市の20年後を考える横浜市のしせいは不安しかありません。  
・横浜市の観光や市民のくらしのことを考えて、誰かがカジノでまけたお金のたよらない方法を考えてください。  
議員、市民、企業、市役所でとりくんでいきましょう。  
横浜市18区でかんこう客や人口をふやしましょう。

IRの収益の80%がカジノといわれているが、その莫大な収益はかけごとに負けた人の不幸の上に生まれたものです。そんなお金を、高齢者のため、子育てのために使うのですか。市は、それをよしとするのですか。他の方策、政策をぜひ考えてほしいと思います。

絶対IRカジノ反対です。やめてください

カジノの含むIRは反対です  
横浜でやるべきではありません

10年20年先の横浜市の税収が減少していくことは確実。そのための対策を今から考えておくことは重要なこと。

IRについていいか悪いか個人的に白紙の状況で聞かさせて頂きました。反対の意見が多いのは分かりましたが、私みたいなまだまだ知らない人が多いので、多くの情報を提供を頂ければと思います。  
IRをきっかけとして、横浜が活性化できれば一つの手法としてはあると思います。  
将来のことを考えれば検討する意味はあると思います。  
・カジノだけでなく様々なエンターテイメントがあるIRの魅力はわかりました。

IRは次の世代のために誘致すべきと考える

・4か所ですらたったの1時間で説明会をやるということ自体が市民の意思を軽視しているのではないかと。全区で3時間くらいの時間をとってやるべき  
・情報提供者がなぜ事業者ばかりなのか、良いことばかりになるのは当然ではないかと。白紙からの調査としておかしい。  
・有識者の意味もせいぜいギャンブル依存症対策をきちんとやれというもの。なぜカジノがあるからやめるべきという意見がでてこないのか。白紙からの調査として、おかしいのではないかと。

横浜全体で参加できる人が400名弱というのは少なすぎます。パブリックコメントを取り直す予定はあるのでしょうか？

市民の生活が本当に豊にするためのものか。幸福度は得られるか？雇用者数についても、少子高齢の中で？非正規雇用も見込みが不明。カジノを含むIR、カジノを含めなければどうでしょうか。  
横須賀に米軍基地、厚木に飛行場が近隣にあるとみると、横浜は魅力として写るかどうか、日常住んでいても不安です。この調査関係費用はいか程でしょうか。

・ギャンブル依存症がわかっていてそれでもそこから財政対策をするという考え方は住民自治の行政をすることでよいのでしょうか。  
・市民でなく誰れかがとくをするのね。その一部の人たちの為に市の財政をつかうのは大反対です。

ギャンブル依存症が想定されるのに市民をまきこむ事は異常。市民の意見は賛成してない。自治体が導入することはダメ。市民の意見を聞いて！！

本来自治体の責務は市民が安心して暮らせる社会を築く事。市政の安定的財政を築くためにIRを検討する事はまったく筋違いだと思います。健全な市政を築いて欲しいと切に願います。IR建設絶対反対です。

市はもっと健全な暮らしのための政策を考えてほしい。お金(税金)の使い道、市民のために。9割の人が反対のカジノです。よく考えてほしい。カジノ反対！

・ギャンブル等依存に関する疫学調査に表われた数値を他国と比較してみてどう考えているのか聞いたかった。  
・90%の市民が反対しているのなら、検討したり調査したりすること自体が民意に反する。それに税金を使っているのはもっと悪い。  
・横浜市のパブリックコメントのとり方は、「意見は聞くが、ドンドン進める」

・市として白紙としての調査、市民はカジノ反対が多数。こうしたことから、反対の有識者の意見を半分くらい載せて、市民の判断材料として提出すべきです。  
・市民投票をすること。  
・マイナス面をはっきり書くことで議論が進む

絶対反対

横浜のイメージからするとIRにカジノが入ることでブランド価値が毀損することが懸念される。(大阪だと、失礼ながら、カジノがあってもそんなもんだらうと思うが)「カジノ抜きでのIRを検討しましょう」

カジノを含めての施設をIRと言っているのだから、日本型IRといったらカジノをつくるということだと、市の人はずっと市民に説明すべき。  
総合リゾート施設、レジャー施設に反対しているのではなくて、その中にカジノをつくることに反対しているのであり、横浜市の税収、これからの観光について考えることは私も賛成だし、そのことはすすめてほしいのですが、「カジノ」をつくる、そのことだけについて反対していることを理解してほしいです。  
若い層、高齢者のことを考えたら説明会は日中にも設定してください。